

第218回 日本神経学会
九州地方会世話人会 (H29年6月17日) 35名出席

議 事

1. 第218回地方会 会長挨拶

宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野

中里雅光 教授

2. 第219回地方会の会長決定 (H29年9月9日)

大分大学医学部 神経内科学講座

松原悦朗 教授

日程の確認を行った。

3. 第220回地方会の会長決定 (H29年12月16日)

琉球大学医学部附属病院 第三内科 循環器・腎臓・神経内科学

大屋祐輔 教授

代理の石原先生より日程の確認を行った。

4. 第221回地方会・生涯教育講演会の会長決定 (H30年3月10日、11日)

九州大学大学院医学研究院 脳神経病研究施設 神経内科学

(福岡大学脳外科と共同開催予定)

吉良潤一 教授

地方会：九州大学医学部臨床大講堂、臨床小講堂1,2

生涯教育講演会・ハンズオンセミナー：コラボ・ステーションI

日程の確認を行った。

5. 世話人の再任について(2017年6月1日現在)

現在の支部会員数：1095名、認定施設：103施設、旧(現)世話人：77名

・世話人数の基準：

(一般社団法人日本神経学会 地方会運営細則 (H23/5/17制定)(資料1)

第7条 1 各支部は、支部活動に必要な世話人を作ることができる。

2 世話人の数は、支部会員の10%を越えない範囲で各支部が定める。

3 世話人は本学会の正会員とし、原則として当法人の認定施設の施設代表者から選出することとする。

4 施設代表者は、認定施設から1名とする。施設代表者が変更になった場合は、前任者は世話人の職を辞することとする。

5 世話人は、地方会での発表実績など支部活動への貢献度に基づいて、世話人会にて選出する。

6 当法人の理事は、その理事が所属する支部の世話人を兼務する。

注1) 認定施設とは、教育関連施設(専門医が 1 名以上)、准教育施設(指導医が 1名以上)、教育施設(専門医 3 名以上、うち 1 名は指導医)を示す。

注2) 施設代表者とは、病院長等ではなく日本神経学会の認定施設の教育責任者を意味する。)

・新世話人(H29-H31年度)の選定(選挙)について(議決)(資料2)：新世話人候補者は77名で、支部会員数の10%を超えないため、特に異論がなければ名簿の通りに新世話人を選定する。

異論がなければこの名簿のままで新世話人の選任とさせていただくがよろしいか。→出席者全員の賛同をいただいた。

7. 支部代表、監事の選出について

・(一般社団法人日本神経学会 地方会運営細則 (H23/5/17制定))

第8条 1 支部には、支部代表1名、監事1名をおく。

2 支部代表と監事は、世話人の互選により世話人会で選任されなければならない

3 監事は支部主催の学術集会である支部地方会の会長を兼任できない

現時点で立候補者は九州大学神経内科の吉良潤一教授のみ(資料3)なので信任投票を行う。吉良教授は2期目の任期をH29/3/31に終了している。連続して担当できるのは3期6年まで(第13条(4))。任期終了と共に時期支部代表者に事務局も含めて引き継ぎを行う。今の所私(吉良)以外で立候補者はいないが、手続き上お手元の投票用紙に信任の印をつけていただきたい。→投票用紙35枚回収し35名全員信任票を頂いた。

監事の選出について、現監事が定年退職の予定とのことで、大牟田病院の笹ヶ迫先生にお願いしようと思うがよろしいか。→賛同していただいた。

H28年度の年会費の請求が遅れており、大変申し訳ございませんでした。集まり次第取りまとめて次回の世話人会で会計報告をさせていただきます。

8. 脳外科との共催の課題について

	神経学会	脳神経外科学会
2017年(前回)	福岡大学	産業医科大学
2018年(予定)	九州大学	福岡大学
2019年(予定)	福岡大学	九州大学

脳外科との共催についての問題：

坪井教授より：前回(第 217 回、産業医科大学脳神経外科との共催)では抄録の形式の違いなど色々と調整事項があったが、メールでのやり取りが煩雑だった。

→脳外科学会に今後の検討課題として提案する。今回までは共催の予定。

9. 日本神経学会の専門医課題検討委員会で神経学会の基本領域化について

現在まで7回の検討を行い、次回6/22の第8回の検討会で終了し答申を出す予定、この答申を7/15の理事会に諮る予定、その後、学会全体と各支部の説明会を8月ごろに持つ予定との説明が、吉良支部代表からあった。